

広報 ごじようめ

発行所 秋田県五城目町夜場 編集 総務課 電話 (018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話 (018876) 2430番 (一部五円)
郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

人口と世帯

世帯数 3,925 世帯
人口 18,225 人
内訳 { 男 8,815 人
女 9,410 人

住民登録簿 (46年7月30日現在)
転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

・秋田県五城目町・

※町民と町政をむすぶ広報紙



＜盆踊＞ 踊る輪のままに踊るみる輪かな 黄 枝

「盆の13日正月から待ちた」これは盆踊唄の一節であるが、民間歳時習俗の中で盆行事と正月行事は、両横綱に位する。盆踊りは年に1度、この世に帰ってくる祖先の精霊を迎え、また送るための風習に発したもので神送りの一種であるが、近年はその宗教的意味が薄れ、観光的な要素が大きくなっている。踊りの種類もいろいろで、念仏踊りから出て、伊勢踊りや、小町踊りの影響をうけて風流化したものが多い。

本町の場合、昔から独自の青年たちが主催で、部落毎または数部落毎の踊りが盛んで、農村部の老若男女達が心おきなく踊りや唄をくり広げたものだが、最近では各地区から町部に集り、1000人におよぶ踊り手たちが華麗な競演をする。

今年もまた、8月22、23、24日の夜、笛や太鼓のはやして、踊る人、それを観る人々で町中が賑わうことだろう。

最近、様々の人間関係における「断絶」という言葉を耳にします。長年の労働運動経験者としてこの立場から労資間の断絶と協調の問題について考えてみました。

本町における木材労組も最近はその現れとして日常活動も賃金要求運動も活発化し、実力行使等に依る場合が年々激化の方向にあります。実力行使は法で認められた要求手段でありまして、ストライキとか処分についてはありません。問題は、精神的な面でも人情的なものも温情的なものが次第に薄くなり何か曰々しい感情的な事務的な冷たい感じ、つまり断絶的なものが感じられる様に見えることですね。力との対立では双方とも何の利益することもなく断絶への溝は深まるばかりでしょう。意見の対立はあつても感情的対立は避けなくてはなりません。

ここで私が提言したのは「徹底した労資協調」ということで過去の御用組合的な労資協調ではなく、労資対等の立場で相手を理解する人情的な血の通った労資関係こそ大切なことと思います。相手が先走りがありますが、これを免服して相互理解という一つの高いところに立って断絶の溝を埋める方向に互いに努めたと思います。いかなる断絶も「血の通った人情」なしで解決はできないと思います。



榎館 石川光雄

「断絶」と労資協調



子どもの祭典

— 友情のファイヤー夜空をこがす —

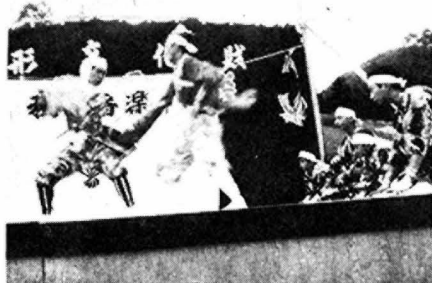


開会式

開会式は、子どもの祭典にふさわしい、底のぬけるような青空のもと、五城目小学校グラウンドでおこなわれた。

八月十日午後一時から、第一回子どもの祭典が、五城目第一中学校、五城目小学校を会場にして、千三百人の児童生徒の参加のもとに、賑やかに展開された。サッカー、ソフトボール、バレー、ピンポン等熱戦がくりひろげられ、三十五度を指す温度計も、子どもたちのファイアの前にはかけがうすかった。

子ども番楽



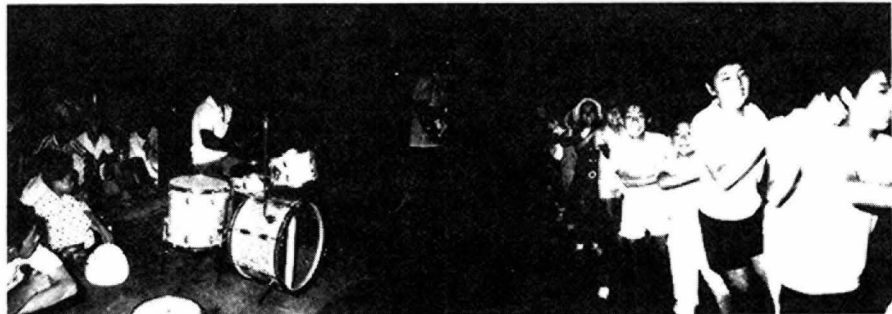
下山内の子ども番楽は、幼稚園児から高校生まで13名参加して、鞍馬、自我兄弟など熱演しかつさいを受けた。

スポーツ

暑さをふきとばすサッカーの熱戦。



ジエンカを踊る子どもたち



大川青年会の兄さんたち、音楽のおくりもの

大川青年会（会長加藤光義）の有志たちが、子どもたちのために日頃の練習してきた文あげたエレキバンドの腕前のほどを飛入り披露した。子どもたちは、いとも現代的なバンドの贈りものにジエンカを踊ってたのしんだ。



夕食

ひた走るサッカー、青空に弧をえがくソフトボールアタック、レシーブのバレー、激しいフットワークのピンポン、選手に劣らぬ応援団の声援、開会式の終り頃はしきりに腹の虫が泣く。午後6時33分楽しい夕食である、給食係はテンテコ舞い、大きなオニギリ2個子ともたちの口の中へたちまち消えてしまう。

おにぎりをほおぼる子どもたち

花 火



町長から花火のプレゼント

ドーンと花火があがること「ワァー」とあがる子どもたちの歓声と拍手、祭典のフィナーレは町長のプレゼントした10発の花火で、夏の夜空をかざった。

子どもは町の太陽だ

加賀谷野営長の点火

この聖なる火が、ひとりひとりの心のきずなとなって、明日への力となることを祈る。



だ 陽 太

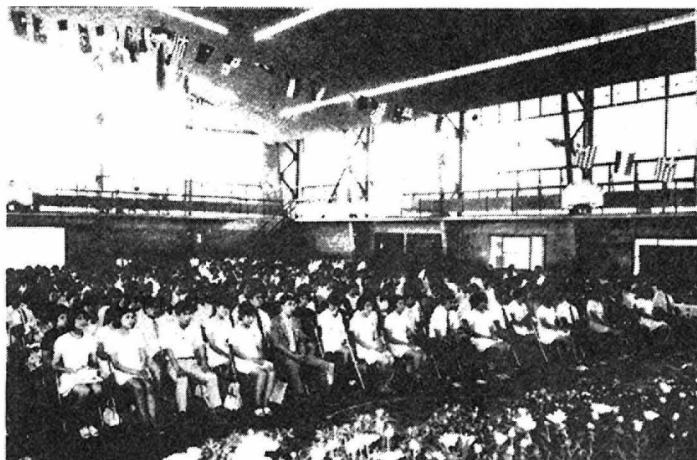
献詞

- 自由の火
- 個性の火
- 生命の火
- 意志の火
- 感謝の火
- 勤労の火
- 社会の火
- 友情の火

今日ここに五城目町に住む私たちのために、初めてこどもの祭典が開かれ、みんな楽しく参加できたことを、ほんとうにうれしく思います。
私たちはこうしたつどいを計画してくださった人々に感謝し、みんなて手をつないで、お互いに学び、たすけあい、健康で、平和を愛する人間になるよう元氣一ぱい努力することを誓います。

ファイヤーコール風景





～ 輝かしい21世紀の日本はみなさんの双肩に ～

式辞をのべる加賀谷町長

☆… 昭和46年度の成人式は、8月15日五城目第…☆
 ☆…一中学校において、約300名の出席をみてお…☆
 ☆…こなわれた。 …☆
 ☆… 町長の式辞、教育委員長代理の告辞のあと…☆
 ☆…町内校長会長、選挙管理委員長、五城目連合…☆
 ☆…青年会長などから祝辞をいただいた。 …☆
 ☆… このあと、新成人の力強い「誓いのことば」…☆
 ☆…があり、参加者一同で乾杯新成人の前途を祝…☆
 ☆…つた。 …☆
 ☆… 式終了後は、新成人の構成する実行委員会…☆
 ☆…の運営で、唄と踊りをたのしみ、午後零時40…☆
 ☆…分に終了した。 …☆



誓いのことばを述べる新成人たち

昭和四十六年度
成人式
 成人の誓いあらたに



20年の年輪今ここに ～ 成人証書



歌と踊りを楽しむ成人たち

- ☆
新成人誓いのことば
 ☆
- ① 私たち成人は、自由とはみずからを律することであり、自由の反面に責任が伴うことを確認します。
 - ② 私たち成人は、自分の個性を生かすことにより、自己の使命を達成するとともに、他人の個性も尊重します。
 - ③ 私たち成人は、自己の才能や素質を十分に発揮し、自己の生命をいづまでも大切にします。
 - ④ 私たち成人は一時の失敗や思いがけない困難に出会っても、それが屈することなく、不屈不撓の精神でつらぬきます。
 - ⑤ 私たち成人は、これまで私たちがはぐくんでくれた父母や社会の人々に尊敬の念と感謝をもって日々へのくらしをおくりします。
 - ⑥ 私たち成人は、自己の仕事を受しすすんで働く喜びをもち創造的知性を伸ばします。
 - ⑦ 私たち成人は、隣人を愛し、社会の運営の意識をもち、社会に奉仕します。

新成人の記念品受け取りを

去る15日おこなわれた成人式に都合悪く参加できなかった方は、記念品をおわたししますから五城目公民館の方へおいで下さい。

国民年金

老令年金のはいは、生存余命によって年金額が違いますが、下
の表でみるように、かりに七十
才まで生きれば、年金の受取総額
は、四十年間納めた定期保険料の
総額の約六倍にのりましますし、もし
八十九才まで受取れば、その総額
は保険料総額の約十五倍にも相当
する巨額なものとなるのです。
これは所得比例保険料を合せて納
めれば、年金の比重はぐんと増す
わけです。

次に保険料納付について、
五城目町は昭和四十四年度の納
付率は九十五・一％、昭和四十五
年度は九十五・三％と若干の上升
を見ておりますが、この国民年金
の保険料に関しては、他町村の成
績があまりによく、全県を見た

に残念ながら下位におりま
す。特に九月（第二期）特別の納付
率がわるく十月検認特別対策実施
指定町村として県の指導を受ける
ことになっております。第二期と
云えば農家はいろいろな計画も
ありましますが一二期でも二期で
も納入して下さるようお願いしま
す。

尚、もし事象発生した場合、納期
内（四月、七月、十月、一月）に
納付されていなかったときは左の年
金を受けられまませんので常に保
料はきちんと納付して下さい。
未納で受けられない年金の種類
昭和年金 母子年金
寡婦年金 遺児年金
死亡一時金等であります。

何卒年金の意義を認識され、納付
にご協力下さるようお願い申し
上げます。



石崎婦人会(会長加藤キ子)では、冬期間から春先にかけて損傷した部落内町道を補修するため、去る7月27日全員参加のもとに無料奉仕した。この奉仕は石崎部落の環境衛生部と共催するもので、すでに、10年も続いており、部落は勿論町からも感謝されている。

65才以上の生存期間に支給される老令年金支給総額 (所得比例を含みます)

| 加入した年 | 受給期間 | 支給総額 | | | |
|-------|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | 10年間 (74才まで) | 15年間 (79才まで) | 20年間 (84才まで) | 25年間 (89才まで) |
| 20 | 40 | 261,000 | 1,536,000 | 2,304,000 | 3,840,000 |
| 25 | 35 | 228,500 | 1,344,000 | 2,016,000 | 3,360,000 |
| 30 | 30 | 195,600 | 1,152,000 | 1,728,000 | 2,880,000 |
| 35 | 25 | 162,600 | 960,000 | 1,440,000 | 2,400,000 |

ゆくえ不明者をさがしている方のために警察では相談所を設けます

昭和二十六年以降本年七月末日までの県内の身元不明の死亡者は一五五体あり、家出人はいまだゆくえのわからぬ方は一七名おり、また全国の身元不明死亡者にも約二万體で、これらの方は家族にも引取られず無縁仏として扱われているわけです。

警察では家出人、ゆくえ不明者あるいは不幸な無縁仏の身元のある人でも多くさがすため、県内各警察署に台帳や写真を準備し、次の日程により相談所を開設します。この際、家出をし、ゆくえ不明となっている家族、知人の方は気軽に

おいで下さい。
一、相談日
九月二十一日 二日間
九月二十二日 二日間
二、場所
五城目警察署

杉沢地区の 歯の無料検診実施

秋田県歯科医師会の計画と、保健所等の協力を得て、このたびは、杉沢地区住民を対象に、歯の無料検診を実施します。この機会を利用して多数の方が受診されますよう、おすすめていただきます。

●歯の無料検診実施要項
・期日：九月十日（金）
・時間：午前九時～午後二時迄
・場所：杉沢出張診療所

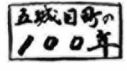
◎受診料は無料です。
この機会に老若男女を問わず多数受診されますよう重ねておすすめていただきます。

なお、居住地から合地までの住民で希望者を対象としております。

県民スポーツ大会 参加選手結団式

八月二十四日五公で
来る八月二十八・九日、秋田市でおこなわれる県民スポーツ大会に参加する本町の代表選手、十一種目、一九五名の結団式で、来る八月二十四日午後六時から五城目公民館でおこなわれます。

はじめの試みで、各町村の力は未知数であるが、各種目にわたる本町選手活躍が期待されている。



(33)

最初の舗装道路

小野 一二

もっとも早く舗装された道路は町のメインストリートである小池町通りである。道路舗装の話が商店主たちから出はじめたのは、昭和八年の春ごろであった。

当時の町内道路はひどいもので例えは重要道路である五城目一日市間の県道でさえ、雨が降ると泥田同様(29参照)だったから受診されますよう、おすすめていただきます。

は、足元をみつけたのは町民の関心が、地域開発と発展の構想とむすびついて、道路の改修にむけていられたことは当然の動きであった。小池町通り舗装は、その具体化である。

小池町の商店主たちは商道会という親睦会を組織して、月一回の例会を開いていた。道路舗装が話題にされたのは、例会の席上と思われる。雪どけの時は、全町の道はどこでも泥と馬糞で、それが乾くと春風はほこりていっばいになる。店に泥とはりが入りこむしお客は難化した。その年の暮れ県土木事務所の係員をよんで話をきいてからである。それによってアスファルト舗装は朝安である。工事はに県補助が相当額出るとのことであった。以来計画は急に進んだ。

ところで、町内にも舗装計画があった。町内は夏でも乾くことがないという町一番の悪路だった。その悪路を、製材工場へ出入りする馬車がびっさりしに通るので

いくら手入れしても悪くなる一方だった。町内では毎年の納税奨励金を積立て、工事費の半額を負担しようというのであった。それだけ困っていた訳である。

小池町の舗装の設計ができたのは、九年三月十五日宮田日新堂で開かれた商道会例会であった。幅10m、長さ300m、工費三千二百円内受益者負担千円で坪当たり12円で完全舗装ができることになる。

工事は六月末に小池町、田町同時に始まった。工費は両方合わせて八千円である。田町の工事は常演寺前から戸村堰橋まで、橋はコンクリート橋にかえられることになった。

約一か月後小池町通りがまず竣工した。八月一日これを祝って道路祭が開かれ、人形芝居の余興に夜は桜音頭の踊りの輪をひろげるなど、大変な大出で、能代につくもので、短いとはいえず最初であった。田町の工事が橋を渡して終わったのは八月半だった。戸村堰橋の工費は五百円で九月末に完工した。

ところが一冬おわると、田町の道路はひどい状態になった。破損した所へ手入れをしないので、五年もたつともとの悪路に返ってしまった。小池町通りに破損がなく、雪どけの町の子だまたちのコマまわしの遊び場になった。

ごみ収集日

9月のごみ収集日はつぎのとおりです。

| 町名 | 月回 | | | |
|-----|----|----|----|----|
| | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 |
| 古川町 | 1 | 7 | 15 | 23 |
| 川原町 | 1 | 7 | 15 | 23 |
| 久原町 | 2 | 9 | 17 | 25 |
| 池田町 | 2 | 9 | 17 | 25 |
| 新小町 | 2 | 9 | 17 | 25 |
| 中川町 | 2 | 9 | 17 | 25 |
| 原町 | 2 | 9 | 17 | 25 |
| 町 | 2 | 9 | 17 | 25 |
| 城町 | 8 | 11 | 18 | 28 |
| 町 | 8 | 11 | 18 | 28 |
| 町 | 8 | 11 | 18 | 28 |
| 町 | 8 | 11 | 18 | 28 |
| 町 | 8 | 11 | 18 | 28 |
| 町 | 3 | 10 | 20 | 27 |
| 町 | 3 | 10 | 20 | 27 |
| 町 | 3 | 10 | 20 | 27 |
| 町 | 4 | 12 | 21 | 28 |
| 町 | 4 | 12 | 21 | 28 |
| 町 | 5 | 14 | 22 | 29 |
| 町 | 5 | 14 | 22 | 29 |
| 町 | 5 | 14 | 22 | 29 |
| 町 | 5 | 14 | 22 | 29 |
| 町 | 2 | 8 | 16 | 24 |
| 町 | 2 | 8 | 16 | 24 |
| 町 | 2 | 8 | 16 | 24 |
| 町 | 2 | 8 | 16 | 24 |

明るくきれいな環境で快適な生活を送りましょう。

★不燃物には標葉を忘れないでつけてください。
★ポリ袋、標葉は最高の委託店でお求めください。

暮しの案内

狩猟免許を受ける方は必ず講習を

本年度、狩猟免許を受けようとする方は講習会を受講しなければなりません。希望者は必ず次により申し込んでください。

- 一、管内開講日
 - 初月課程 九月二日、九月十日
 - 九月課程 九月二日、九月十日
 - 二、開講場所
 - 秋田県庁(秋田市山王四丁目)
 - 三、申込先
 - 秋田農林事務所、林務課(秋田市山王四丁目、県庁うち)
 - 四、申込期日
 - 希望開講日の七日前まで

- 五、受講料
 - 初月課程 七百円
 - 甲種課程 七百円
 - 乙種課程 四百円
 - 丙種課程 四百円
 - 甲乙丙種共 四百円
- 六、受講申込用紙請求先
 - 秋田農林事務所林務課又は地元狩猟会長
- 七、県庁駐車場の使用制限
 - 駐車場の使用は二時間に制限されており、受講者は県庁駐車場を使用しないよう配慮のこと。
- 八、その他
 - ①最近六ヶ月以内に撮影した正面、上半身、無帽のライカ版写真一枚を申請書に添えること。

台所のごみ処理について

台所のごみを二、三日おきであつてももらえないでしょうか。ごみ収集は十日もこないで、ウジがわいてこまらいます。

どうぞ早いうちにお願ひします (一住民)

おこたえ

役場町民室に備え付けの「住民の声」投書箱に入つていた要望におこたえいたします。

台所のごみとありますが女寮の内容からして、水分の多い流しのかす類だと思います。前にもよくどか広報とか会合でもお伝えしてきましたが、まず水分をよくきって燃えるごみ(紙屑等)を入れるポリ袋に、燃えるごみの四分一程度に分割して)に、ませて入れること。

②細部については、秋田農林事務所林務課、又は地元狩猟会長に照会のこと。

なお受講の際は筆記用具持参のこと。

声

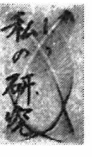
台所のごみを二、三日おきであつてももらえないでしょうか。ごみ収集は十日もこないで、ウジがわいてこまらいます。

どうぞ早いうちにお願ひします (一住民)

町県民税所得割該当者

- 一ヶ年分前納者芳名
- 【五城目地区】
 - 新谷治 菅原寿一郎 工藤太郎
 - 柴野三雄 渡辺ヨシ子 築地俊電
 - 斎藤鉄雄 一岡テツ子 鏑美紀子
 - 渡辺綱彦 高岡テイチ 武田克巳
 - 本間市郎 斎藤友次郎 本間一夫
 - 熊谷谷賢 渡辺ハルノ 一岡勇吉
 - 佐藤美代 館岡 金治 沢石養三
 - 原野敏彦 小野 芳江
 - 【内湯地区】
 - 小玉安長 近藤 貞市 藤井徳治
 - 藤井節一 藤井 金蔵 佐藤忠四
 - 小野 豊
 - 【馬場目地区】
 - 石井 勝也 佐々木敬次郎
 - 石井勇太郎 伊藤孫一 草苺茂樹
 - 佐藤 金市 佐藤 栄 石川蔵治
 - 【富津内地区】
 - 石井 孫一 朝野信夫
 - 【内川地区】
 - 松橋長悦 小玉理悦郎 松橋テル
 - 佐藤幸作 松橋喜美生
 - 【大川地区】
 - 大川原 誠 小熊秀夫 加藤茂松
 - 小玉 スズ 小熊稔子 浅野勘市

八月は町県民税第二期分の納期ですお忘れなく早目にどうぞ。



私の研究

スズムシとともに ⑥



富中 渡辺 セツ

「いつ頃からスズムシを飼われたのですか」「スズムシを飼われた動機は」とよく聞かれます。その度に「汲びゆく北限地のスズムシを守るために」とか「昭和三十年頃からです」とか答えておきますが、実は私とスズムシのつきあいはもっともつと占いのです。物ごころつた頃からは、いや生れたときからかもしませんが、生れたところには森山の鷹であり、しかもスズムシの鳴きはじめる八月の誕生です。

祖父は無類の鈴虫好きでした季節になると大きなカマにたくさんスズムシを飼ってました。村の男の子たちは競ってスズムシを採ってきてくれたりうす暗くなって電燈のつく頃、いささか興奮した顔つきの男の子たちが手に手にスズムシの入った紙袋を持ってどやどやときます。祖父は大喜びで「おお、来たか来たか」と迎え、いくは母かのお金やらお菓子やらを母で労をねぎらっておりました別に「採ってきてくれた」と頼んでもいかなかったけれど毎年の年中行事のようなものだったのです。大がねのほかに、木枠に緑の蚊帳の布を帳つた手製虫かごにも飼っていました。つせと水を吹いたり、ナスの輪切りに切れ目を入れたり、声

が良くなるようにと、さとうまで添えていました。鳴声とさとうはなんの関係もないのに……校長までした祖父でしたけれどもスズムシに盲目的になつてそのままで科学的に考えなかつたのでしょうか。(けれどもさとうは餌の防衛には役立つていたようです。)一匹逃げたについては家中大さわぎでしたがしたりしたことも思い出されませう。また鳴き声を一振り二振りも幼かったそのころです。

科学的に生感を観察するなどということは許されませんでしたし、またその必要も感じませんでした。ただスズムシは神秘的に暗い静かなところでグリーンと玉をころがしているものなのでした。なにしろスズムシの区別もわかりませんでした。(女の子ながら山へ行くことを許されなかつた私はもちろんそんななど見る機会もありませんでした。)たまたまメスを見つけたのもそれはスズムシと異種の虫と思われていたようです。ハネゴロとかニホンゴロとかいって、けんかをしたと申せかけて、けんかをしたと申せかけて、思えば正しい生態観察だったのです。

とにかくこのような環境に育つた私にはスズムシを飼うということが特別なことではなかつたのです。スズムシと生れた時だけのようです。四帖半の間借りの時も隣への気兼ねからたンスズムシを飼って、入られて飼つたこともありません。